

## 【特定非営利活動法人子ども大学よこはま 役員変更のお知らせ】

2020 年度総会において役員変更があり、7月1日より下記の通りとなります。

これまでと変わらぬご支援をお願い申し上げます。

理事長 大年 美津子  
副理事長 野寄 晃良  
理事 遠藤 悦郎  
岡嶌 伸枝  
大森 美智子  
尾上 洋子  
曾根 真樹子  
監事 小澤 宏一

### 理事長就任のご挨拶

理事長 大年 美津子

この度、新理事長に就任しました大年 美津子（おとし みつこ）と申します。

私がこの活動に参加したのは、2014 年の設立準備の頃です。本物の世界で活躍する方々を講師にお招きし、小学校高学年のうちに直接その講義を受けることができるというのは、なんと贅沢な活動だろうかというのが第一印象です。きっと集まる子どもたちは、かなりの秀才たちなのだろう、と私の中で勝手にイメージしていました。

しかし、少し違いました。2015 年の開校以来、講義を受ける時どの学生の目も、とても純粹で、真剣で、真っ直ぐです。なぜこんなにも素直に「学ぶ」ことができるのだろうか、この5年間ずっと考えてきました。

まず、日本の学校教育は学年ごとのカリキュラムにある程度の枠を設け、それを期限内に要求通りこなせる能力が試されます。ところが、子ども大学よこはまは毎回違う講義で、一体どんな先生がどんな授業をするのか、来てみなければわからないのです。ある程度の事前学習もありますが、予測不可能です。それでも、学生は「おもしろそう！」と飛び込んできて、個性豊かな講師の言葉、専門知識が飛び交い、大人が「ちょっと難しいのでは？」という垣根を、ひょいっと乗り越え、自分なりに必ず何かをキャッチして帰っていきます。子ども達は、どんな状況もしなやかに乗りこなす能力を持っているのだと改めて感じます。

そして、現代社会は「こんなあったらいいな」という物はたいてい手軽に得ることができ、情報にもあふれ「なぜ？」という好奇心もポチッと簡単に調べることができる時代です。脳も体も酷使するということに慣れていません。「体感」「体幹」がどうしても育ち

にくい環境です。そうすると、どうしても物事を立体的にぐるりと見回すような思考は難しくなります。ある一面を見て、もう知ったようなものです。それなら、物事を「あちらからもこちらからも」「ひっくり返したりつぶしたり」「こわれたら作り直せる」というような思考をしてきたプロの視点をかりて、まさにヴァーチャルリアリティ体験を子ども大学よこはまの講義で体験できているのではないのでしょうか？

気が付けば、自分自身も毎回夢中になり、今度はどんな授業を学生に届けようか？今度はどんな風にキャッチするだろうか？とワクワクしながら考えるようになりました。

今年度、新しい試みとして「リモート学部」を新設しました。私たちは、今までとは違う角度から、学生と共に未知なる道へ向かい、答えのない未来のための Action を考えて参ります。

前任の内田ふみ子理事長は、この横浜という広い地域での開校を決意し突き進んでこられました。私が次の理事長というバトンを受け取り、その道をさらに進み続ける所存です。未熟ではありますが、これまで同様皆様からのご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2020年7月1日

## 2020年度の活動について

### 1. 年間授業計画

2020年度は全5回の授業を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、7月1日現在、9月の第3回までの授業の中止を決定しております。

残る第4回、第5回に関しても、感染症の状況によって開催の可否を検討してまいります。

### 2. リモート学部

2020年度4月の新年度授業の第1回～第3回の授業を中止し、学生募集も停止となる中、今だからできることは何かを検討し、「リモート学部」を立ち上げました。

5月は、第一章として横浜市立大学 木原生物学研究所の坂智広（ばんともひろ）教授の2018年度の講義をYouTube配信（2019年度修了生向け）、そしてその動画に合わせZoomを使ったライブ授業を毎週土曜日、計4回行いました。

さらに、第二章として引き続き坂教授にご協力いただき、6月～9月の各月1回のライブ授業を行います。